

平和

アナザーストーリーズ 運命の分岐点

その時 沖縄は沸騰した

～日米地位協定の波紋～

放送日：2020年1月21日 放送時間：59分



対象校種 中学 高校

対象教科 社会 現代社会 日本史探究

平和

この番組の良さ



● 普天間基地の移設にいたる沖縄の歴史を知ることができる。

松島菜々子さんが沖縄を訪れ、1995年の沖縄県民総決起大会で演説した当時の高校生、仲村清子さんとの対談形式で番組が進みます。清子さんの当時の演説に「私たち生徒、子ども、女性に犠牲を強いるのはやめてください。軍隊のない、悲劇のない、平和な島を返してください。」という言葉に、米軍基地が沖縄にもたらした負の遺産の重さを感じ取ることができます。日米地位協定の見直し交渉から、大田知事の普天間基地返還要求へとつながり、やがて辺野古移設へと向かう歴史を、番組を通して知ることができます。

● 歴史が人々によって、どのように形成されるのかを目の当たりにできる。

日米地位協定の見直しに向け、多くの人々が動きました。当時の大田知事、河野外相、橋本総理などの側近などが、どのようなやり取りが行われ、どのような状況だったのかを赤裸々に語っていきます。アメリカの交渉内容に、大田知事の顔色が変わった話や、橋本首相が飛行機内で周りの人に「俺は迷っている……」と話したことを回顧する場面は、一人の人間が苦悩しながら歴史を動かす様子が伝わってきて、その現場にいたような気分させられます。

番組活用のポイント

● 日米地位協定の是非を考える

本番組は、中学校社会科歴史分野の「戦後日本の歴史」や、公民分野の憲法第9条の学習教材として活用することが考えられます。また、高校の現代社会、歴史探究の学習教材として活用できます。日米地位協定は1960年に結ばれますが、「被疑者が基地にいるときは逮捕できず、事情聴取もままならない。起訴されるまで身柄が日本政府に引き渡されない」というものでした。このことは、日本が江戸時代に結んだ日米修好通商条約の「治外法権」という不平等条約の内容と似ています。元外務省北米局長の折田は「軍隊が外国に行くということは、命をかけて行くわけですから、何らかの取り決めをして、一般人とは違う待遇を受けることになっている。そういうことを甘受せざるを得ない」という当時の状況を話しています。日米安保条約には、日本に有事があればアメリカが守ってくれるが、その反対のことは明記されていない。アメリカ側が「日本がアメリカを守る義務はどうするんですか」と言い返してきたら、どうやって答えるの」と元防衛局長の秋山は語ります。日米地位協定の改定は日米安保条約にまで範囲が広がる話であり、生徒がこの協定の是非を多面的に考えることのできる優れた教材になります。

● 普天間基地の辺野古移設問題を考える

普天間基地の辺野古移設が、近年の沖縄県内の選挙で大きな争点となっています。辺野古移設に至る経緯を番組の視聴で学ぶことができます。そこには、沖縄県民の思いと、日本政府、アメリカ政府、日本にいる全国民の様々な思いが交錯する、複雑な問題となっています。ロシアのウクライナ侵攻や中国と台湾の問題、北朝鮮と韓国との関係など、日本を取り巻く国々の防衛問題がクローズアップされています。日本の米軍基地が沖縄に7割集中する現状を踏まえ、日本の防衛問題と辺野古移設問題を考えることで、歴史や政治の学習に深まりが見られることでしょう。



執筆者
藤里町立藤里中学校
教諭 嵯峨静人

その時沖縄は沸騰した ～日米地位協定の波紋～

対象校種 中学 高校
対象教科 社会 現代社会 歴史探究

【授業時間 50分】 部分視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>現在、日本には幕末の不平等条約と似ている協定がありますが知っていますか。</p> <p>領事裁判権と同じ内容が現在もあるとは驚いた</p> <p>米軍基地が近くにある住民は安心して暮らせない</p> <p>この地位協定はどのように作られたのだろう</p> <p>この地域協定を廃止することはできないのだろうか</p> <p>日米地位協定はどのようなものだったのだろうか なぜ、今もあるのだろうか</p> <p>幕末と同じようにアメリカが日本と強引に結んだのだろう</p> <p>廃止することにアメリカは応じないだろう不平等だ</p> <p>番組まるごと事前視聴 部分視聴の場合、右記の通り</p> <p>I どのようなものだったのだろうか</p> <p>II 当時の日本、アメリカ政府高官の思い</p> <p>III 沖縄県民の思い</p> <p>公務中の犯罪は米軍に裁判権がある。被疑者が基地にいるときは逮捕できない</p> <p>沖縄は東アジア防衛戦略の要である。日米地位協定を改定すべきでは無い</p> <p>日米地位協定を改定、廃止すべき。普天間基地を沖縄に返還すべき</p> <p>日米地位協定は廃止すべきかどうか、クラス全体で話し合う。</p> <p>犯罪を犯したアメリカ人を日本の裁判で裁くべきではない</p> <p>地位協定を改定したら米軍が撤退する。改定すべきではない</p> <p>日米地位協定では、米軍の被疑者が基地にいるときは逮捕されないなどの特権がある。国民感情を考えると廃止が望ましいが、日本における米軍の防衛力低下につながる恐れもあり、慎重に話し合いを進める必要がある。</p> <p>日米地位協定や辺野古移設問題を沖縄県民はどのように考えているのか調べたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幕末の不平等条約の内容を全体で確認し、意見を聞き、問題意識を醸成していく。 日米地位協定の一部を掲示し、①被疑者が基地にいるときは逮捕できない、②起訴されるまで身柄が日本政府に引き渡されないということを伝え、学習問題に結びつけるようにする。 疑問を生かして生徒の言葉で学習問題を設定する 生徒の求めに応じて番組を視聴するが、理解しやすいように3つの視点から視聴することを促す。 <ul style="list-style-type: none"> I 8分14秒～10分34秒 II 26分50秒～30分27秒 III 1分03秒～4分04秒 12分～13分24秒 (部分視聴合計 10分22秒) 地位協定の改定には至らず、運用改善という決着となったことについて考える中で、本当の願いは何かということと現実との両面を考えていけるようにする。 <p>【思考・判断・表現】 日米地位協定はどのようなものだったのか番組視聴から考察し、発表することができる。また、日米地位協定を今後どのように運営すべきか自分の言葉でまとめることができる。</p>